

令和5年度

松江ウインタースクールで 大口町を訪問

12月9日(土)
10日(日)

松江市内の小学6年生20名が、1泊2日の日程で大口町・犬山城等を訪問しました。



この事業は、松江市と大口町の姉妹都市交流が次世代へと繋がっていくことを願い、昨年度より開催しているものです。

大口町からは、8月に町内小学校6年生12名が松江市を訪問し、同町出身の武将堀尾吉晴公が築いた国宝松江城や松江歴史館を、松江市児童と見学しました。そして、今回のウインタースクールで再会となりました。

五条川堤の桜の間伐材を利用したキーホルダーづくりでは、ストラップを付ける穴あけ作業で児童同士協力し合う姿が見られ、ピンクの桜の花びらがアクセントの焼印を入れたオリジナル作品を作りました。



鈴木町長主催の昼食懇談会では、名古屋名物「みそかつ」などが入ったお弁当と、町職員有志が作った地元野菜を使った赤みその味噌汁や味噌田楽をおもてなし。名古屋の食



文化を存分に楽しんでもらいました。町長は、松江と大口は遠く離れていても、堀尾吉晴公のご縁で今もこうやって繋がっていると話をされました。



午後からは、堀尾氏ゆかりの地である堀尾跡公園などを散策。おおくち歴史愛好会の方の話を聞き、熱心にメモを取りながら質問をしていました。

その後、姉妹都市締結式で松江市に贈呈した、アルミプレートに堀尾吉晴公を立体的に彫り込んだ盾を製作した(株)カマタ製作所を訪問。普段目にするもののない切削加工機を見学し、社員の方の説明に真剣に耳を傾けていました。

2日目は、国宝犬山城や県内各所を訪問し、松江への帰途につきました。両教育委員会では、堀尾吉晴公に導かれた400有余年のご縁を子どもたちに体感してもらうことで、永続的な両市町の交流の礎となることを期待しています。



▲堀尾跡公園



▲大口町歴史民俗資料館